

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年9月9日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：村田広報室長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月9日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○村田広報室長 広報室長の村田です。本日も私のほうから御説明させていただきます。お手元の広報日程に沿って御説明させていただきます。

まず、2ポツの審査会合、会見などがございます。

1枚おめくりいただいて、2ページ目になります。

9月13日火曜日、（4）1071回の原子力発電所に係る審査会合です。

議題は1つで、関西電力高浜発電所1号機のバーナブルポイズンの保管場所変更に伴う設工認になります。

7月15日に申請がございまして、今回が初回の会合になります。

続きまして、9月15日木曜日、（7）第18回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合です。

こちらは日立造船の型式証明に関するものでございまして、前回6月30日の会合のコメント回答になります。

おめくりいただきまして3ページ目、同じく15日の木曜日ですけれども、（8）1072回の原子力発電所に係る審査会合でございます。

議題は2つございます。

1つ目は、保安規定変更に係る基本方針（BWR（沸騰水型原子炉））についてです。

この方針につきましても、BWR電力各社が作成をしたものでございまして、新規性基準の施行に対応した要求事項について、電力各社が保安規定の変更において反映するための基本方針というもの定めたものです。

3年前の2019年に作成された本方針につきましても、その後の保安規定の審査結果などを踏まえ改正したということですので、その説明を受けるものです。当日は、BWR電力各社が出席をする予定となっております。

議題の2つ目ですけれども、東北電力女川原子力発電所の保安規定の変更でございます。

6月30日ですけれども、設置変更許可や設工認の結果を踏まえた補正が申請されておりました、それを踏まえた初回の会合となります。

続きまして、9月16日金曜日、（9）1073回の原子力発電所の審査会合でございます。

こちらの議題は3つございます。

議題の1つ目は電源開発、大間原子力発電所の地震動評価でございまして、前回3月18日の会合のコメント回答になります。

議題の2つ目ですけれども、北陸電力志賀原子力発電所の敷地の地質構造についてでございます。

こちらは、昨年11月の現地調査において指摘事項が幾つかありますけれども、それを踏まえた調査の結果について説明を受けるものでございます。

それから、議題の3つ目ですけれども、北海道電力の泊発電所ですが、引き続き津波評価の審査の進め方の議論になると聞いてございます。

私からは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—